

睡眠時無呼吸症候群(SAS)が招く睡眠障害に対する支援方法を学ぶ

# 産業事故予防のための「居眠り」対策

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の方は、睡眠中に何回も無呼吸が起きても、自覚症状がないためか、受診が遅れ、職場や生活の中で少しおかしいな、変だなと思っても、治療にメリットがないと感じ、なかなか受診しないものです。

しかしながら、放置していると、眠気のせいで日中、仕事に集中できなかつたり、居眠り運転をしてしまい、重大事故につながることもあります。

SASを放置していると高血圧、脳血管障害、虚血性心疾患、糖尿病なども引き起こします。病気の概要、症状、検査・治療法等を理解し、悪循環を断ち切り、循環器疾患、生活習慣病予防に従業員が取り組めるよう、産業保健スタッフとしての支援方法を学びましょう。

## 講師

広島産業保健総合支援センター 産業保健相談員  
(津谷内科呼吸器科クリニック 理事長)

津谷 隆史 氏

## 日時

令和5年

3/24 (金) 15:00~16:30

## Web開催(受講料無料)

オンライン研修(定員100名): Zoom

※オンライン環境が整っていない方  
会場(定員5名)

広島産業保健総合支援センター

広島市中区基町11-13 合人社広島紙屋町アネクス5階

申込はこちらから



## 対象

産業保健スタッフ、医療関係者(保健師、看護師等)、  
保健指導、相談支援に携わっている方など  
(興味関心がある方はどなたでも参加できます)

主催: (独) 広島産業保健総合支援センター  
共催: 全国健康保険協会広島支部

## 【問合せ・申込先】

(独) 労働者健康安全機構 広島産業保健総合支援センター  
☎ 082-224-1361 ☒ info@hiroshimas.johas.go.jp  
<https://www.hiroshimas.johas.go.jp>